[6959/5G-120-001]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G120 抗Jo-1抗体 [CLEIA]

抗Jo-1抗体 [CLEIA]

anti-Jo-1 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6959	001	抗Jo-1[CLEIA]

検査予約

至急オーダー

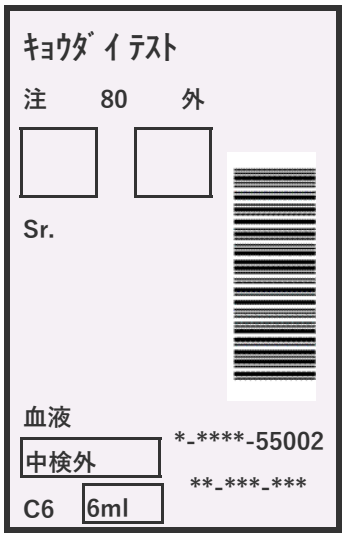
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)



ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

2026/07/10　14:41

[6959/5G-120-001]

Ver.17

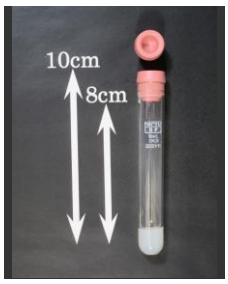
5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G120 抗Jo-1抗体 [CLEIA]

抗Jo-1抗体 [CLEIA]

anti-Jo-1 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

01	C6	凝固促進剤＋血清分離剤(ピンク)			
採取材料	血液	採取量	6 mL		
生化分離	遠心				
測定材料	血清	測定必要量	0.5 mL		



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵					

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い

尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査･追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）
（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

2026/07/10　14:41

[6959/5G-120-001] Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G120 抗Jo-1抗体 [CLEIA]

抗Jo-1抗体 [CLEIA]

anti-Jo-1 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

検査機器	
検査所要日数	2～4日
検査部門・委託先	外部委託（エスアールエル）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	化学発光酵素免疫測定法（CLEIA）

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	抗Jo-1抗体	10.0 未満	10.0 未満	U/mL

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

  抗Jo-1抗体は, 1980年に多発性筋炎（polymyositis）や皮膚筋炎（dermatomyositis）の患者血清中に発見された自己抗体で, 患者の頭文字をとって命名された.

  対応抗原は分子量50kDaの蛋白で, ヒスチジル-tRNA合成酵素である. この酵素はtRNAの塩基配列に対応し, 特異的にヒスチジンをtRNAに結合させる働きを持つ. ヒスチジルtRNA様のRNAをもつウイルス感染によって, この自己抗体が産生されるという見方があるが, 皮膚筋炎, 多発性筋炎でなぜ特異的に本抗体が検出されるのか, 明確な機序については不明な点も多い.

  一般に皮膚筋炎の診断は, 筋肉痛, 近位筋優位の筋力低下や, ヘリオトロープ疹など特徴的発疹の臨床所見に加え, 血中CPK, AST, アルドラーゼ等の筋原性酵素の上昇, 筋電図での筋原性パターンや, 筋生検, 皮膚生検所見なども加味して総合的に診断される. 抗核抗体は本症の約70％で陽性となり, 抗Jo-1抗体が陽性となればさらに診断精度は高まる.

  本検査は二重免疫拡散法により行われ, これらの筋炎における陽性率は約15～

2026/07/10　14:41

[6959/5G-120-001] Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G120 抗Jo-1抗体 [CLEIA]

抗Jo-1抗体 [CLEIA]

anti-Jo-1 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

25%とあまり高くはない. しかし他の疾患で陽性になることは少なく, 他の膠原病に合併した多発性筋炎で出現することも稀である. このため, 抗Jo-1抗体は皮膚筋炎に特異性の高い検査であるといえる. また, 皮膚筋炎患者の2～5割に間質性肺炎が合併するが, うち60%で抗Jo-1抗体が陽性となる. 多発性関節炎やレイノー現象を伴う場合は, さらに出現率が高まる.

  なお, 抗Jo-1抗体と筋炎の活動性との関連は明確ではないが, 治療により軽快する場合には抗体価が低下する場合が多いといわれている.

陽性を示す病態・疾患

多発性筋炎, 皮膚筋炎, 肺病変を合併する筋炎

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	5G120	抗Jo-1抗体
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	052	化学・生物発光イムノアッセイ(CLEIA)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2017/01/30	2017/02/01～	検査項目コード・オーダーボタン・検査方法・報告日数・報告項目・基準値・単位変更
5	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
6	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
7	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更

2026/07/10　14:41

[6959/5G-120-001]

Ver.17

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G120 抗Jo-1抗体 [CLEIA]

抗Jo-1抗体 [CLEIA]

anti-Jo-1 antibody

連絡先　3764・PHS 2-6799

8	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
9	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
10	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
11	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
12	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
16	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
17	2026/06/11	2026/06/01～	外部委託契約更新にともなう変更

2026/07/10　14:41